

各種調査の結果報告

1 病児保育事業、一時預かり事業及び子育て支援センターに関するアンケート調査

実施時期	令和6年6月17日から令和6年7月16日まで
対象者	住民基本台帳から無作為抽出した平成30年4月2日から令和6年4月2日までに生まれた方1,000人（年齢区分ごとに均等に抽出。）
実施方法	アンケートを対象者に郵送。回答は郵送又はオンライン（とっとり電子申請サービス）のいずれかを選択。
回答者数	配布部数：1000部、回答部数：515部、回答率51.5% 515部のうち、紙回答255部・オンライン回答260部 紙回答49.5%、オンライン回答50.5%
主な調査結果	○<u>保護者の現在の就労状況（上位回答）</u> フルタイム就労、週5日・一日8時間就労 ○<u>定期的な教育・保育の利用状況</u> （現在の利用状況） 「利用している」が83.3%、「利用していないが、将来的に利用する予定」が15.5%であり、98.8%の方が現在又は将来的に定期的な教育・保育を利用する意向がある。 （いつから入園・入所を希望するか） 「1歳6か月まで」（43.2%）、「3歳以上」（21.6%） ○<u>病気の際の対応</u> （この1年間の病児・病後児保育の利用の有無） 「利用した」が12.1%、「利用していない」が87.9% （病児・病後児保育が利用できなかった経験の有無） 「利用できなかったことがある」が11.7% （登園できない場合の希望する対応方法） 「できれば仕事を休んで、お子さんをみたい」（60.9%）、「普段家庭にいる保護者が、お子さんをみる」（15.8%）、「できれば病児・病後児保育を利用したい」（14.0%） ○<u>一時預かり等（ファミリー・サポート・センター事業及びベビーシッターを含む）不定期の保育等</u> （利用の有無） 「利用した」（7.6%）、「利用していない」（92.4%） （今後の利用意向） 「利用を希望する」（37.1%）、「利用を希望しない」（62.9%） ○<u>地域子育て支援センターの今後の利用意向</u> （今後の利用意向の有無） 「利用を希望する」（47.4%）、「利用を希望しない」（52.6%）

○子どもの育ちをめぐる環境や、子育てに関する施策		数
保育園	無償化	14
	第一希望に入所できない	3
	保育料が高い	3
	親の仕事が休みの日も預けたい	3
	その他	5
一時預かり	手続き	3
	料金	2
	利便性	3
	その他	7
病児保育	定員	13
	手続き（診察等）	6
	利用時間の拡大	3
	病児施設の充実	7
	その他	6
なかよし学級	定員	7
	環境の整備や改善（活動内容の見直し）	1
民間クラブ		3
学童以外の居場所		3
遊び場	雨の日	7
	充実	27
経済的支援	手当	17
	支給・補助	39
	給食費	2
相談窓口・情報発信		10
働く環境・子育ての両立	休暇	28
	その他	6
子育てサービス		30
周囲からのサポート		4
その他	米子のサポートは充実している	3
	習い事の充実	2
	不適切保育の防止、検診前のお知らせ、若い人への結婚のサポート、バスでのベビーカーの利用をしやすいようにしたい、アレルギーへの配慮 など	13
合計		280

2 放課後児童健全育成事業に関するアンケート調査

実施時期	令和6年6月11日から令和6年7月12日まで
対象者	米子市内の教育・保育施設に通う年長児の保護者
実施方法	教育・保育施設に対し、対象者へのアンケートの配布を依頼。 回答は紙回答又はオンライン回答（とっとり電子申請サービス）のいずれかを選択。 紙回答については、各施設がとりまとめし、回収。
回答者数	配布部数：1250部、回答部数：607部、回答率48.6% 607部のうち、紙回答260部・オンライン回答347部 紙回答42.8%、オンライン回答57.2%
主な調査結果	○<u>保護者の現在の就労状況（上位回答）</u> フルタイム就労、週5日・一日8時間就労 ○<u>こどもの就学後の平日の放課後の過ごさせたい場所（複数回答・上位3つ）</u> ・低学年（1～3年）…「放課後児童クラブ」（73.5%）、「自宅」（67.2%）、習い事（54.6%） ・高学年（4～6年）…「自宅」（89.2%）、「習い事」（65.4%）、「放課後児童クラブ」（40.4%） ○<u>放課後児童クラブを何年生まで利用したいか（上位2つ）</u> 「3年生まで」（35.3%）、「6年生まで」（27.5%） ○<u>放課後児童クラブを選ぶときに最も重視したいこと（上位2つ）</u> 「クラブが学校に近いこと」（27.3%）、「利用料金の安さ」（24.6%）

○子どもの育ちをめぐる環境や、子育てに関する施策		数
なかよし学級について	開所時間の延長	8
	定員	21
	2年生以降の入所できるかどうか	8
	食事のサポート	2
	その他	7
民間クラブについて	料金	12
	施設が遠い	2
	学童施設の増設	2
	その他	6
学童以外の居場所		12
遊び場		7
経済的支援	手当	5
	支給・補助	20
	給食費	4
相談窓口・情報発信		6
働く環境・子育ての両立	休暇	4
	共働きが可能な環境整備	6
	金銭的なサポート	2
	その他	3
子育てサービス		27
小学校のこと		10
周囲からのサポート		9
その他	職員の処遇改善	2
	近くにスーパーマーケットが欲しい、安全な環境、トラブルへの対処、こども同士の交流など	8
	合計	193

3 こども等の支援に携わる事業者向けのヒアリング調査

対象施設等	子育て支援センター、産後ケア施設、児童発達支援センター、放課後等デイサービス、児童館、学習支援事業、放課後子ども教室、子ども食堂、米子市児童文化センター、子ども会
実施期間	令和6年8月から令和6年9月まで
主な調査結果	<u>○利用者の課題として感じていることについて（主なもの）</u> ・子育てに悩みやしんどさを抱えている家庭が多い。 ・子育てに関し、周囲に頼る人がいない家庭がある。 ・障がいや発達、貧困世帯、ひとり親世帯等、支援の必要なこどもや家庭が増えている。 ・支援を必要としているが、困り間の表出が少ない。 <u>○利用者に対し、あると良いと考える支援について（主なもの）</u> ・子育て支援の充実（必要なサービスにつなげる、産後の支援の充実など） ・子育て世帯が地域から孤立することを防ぐための取組 ・保護者が気軽に相談できる環境づくり ・保護者をサポートするための支援 <u>○活動をする中で困っていること（主なもの）</u> ・人材不足 ・利用しやすい環境づくり ・老朽化や遊び場不足のハード面 ・参加者の固定化 ・運営費